



朝晩は涼しい風が吹く日もあり、夏から秋へと季節がバトンタッチしてきたようです。子どもたちは夏期休業期間中の過ごし方から少しずつ生活リズムを取り戻し、自分のしたいことに取り組んだり、先生や友達と触れ合いながら遊んだりすることを楽しんでいます。

『なつのおもいで』発表会

学級で『なつのおもいで』を一人一人が話す発表会をしています。友達の前で話すことにドキドキしながらも、楽しかったことやうれしかったことを自分なりの言葉で話し、それをみんなに聞いてもらえたことを喜んでいました。友達の話聞いて興味をもち、発表をきっかけに友達との会話を楽しんだり、飾ってある



『なつのおもいで』を友達と見合ったりする姿も見られました。『なつのおもいで』の作成にご協力いただきありがとうございます。

好きな遊び

夏休みに、カブトムシやセミなどの虫探しをしたり、お祭りに行ったり、花火を見たりした経験から、製作コーナーにある材料を組み合わせ、自分の好きな虫や花火を作ったり、積み木で場を作り、キャンプごっこや船ごっこをしたりして遊ぶことを楽しんでいます。このように夏休みの経験を再現して遊ぶ中で、自分なりの思いや考えを表現したり、友達と思いを受け止め合ったりして遊ぶことを楽しんでいます。



お月見団子作り

9月17日に、係の保護者の方のご協力の下、お月見団子作りをしました。

初めてのクッキング体験をとて楽しみにしていた子どもたち。水を入れると団子の粉がだんだんまとまってくる様子や、茹で上がると浮き上がってくることに驚いたり面白さを感じたりしていました。団子を丸めるところでは、「気持ちいいね」とその感触を楽しみながら、「まんまるのお団子になったよ！」と一つ一つ大事そうに丸めていました。できた団子は、みんなでおいしくいただきました！

学級では月にちなんだ絵本を読んだり、毎日の月の形を話題にしたりして過ごしました。「今日はどんなお月様が出てくるかな？」と空を見上げる子どもの姿も見られます。実際の体験を通して、様々な文化に触れる機会をこれからも大切にしていきたいと思えます。



ぷかぷか
浮いてきた～！

おいしいお団子
なあれ！！



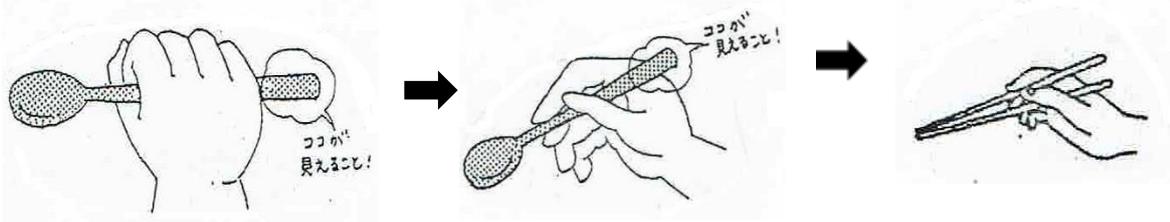
生活習慣のポイント 食具を正しく持とう！

給食では、自分でスプーン・フォーク・箸を選んで使えるようにしています。箸を正しく持つためには、スプーンとフォークを正しく持てることが大切ですが、下図のような流れで、食具の持ち方が移行していきます。また、箸の持ち方は正しい鉛筆の持ち方に繋がります。

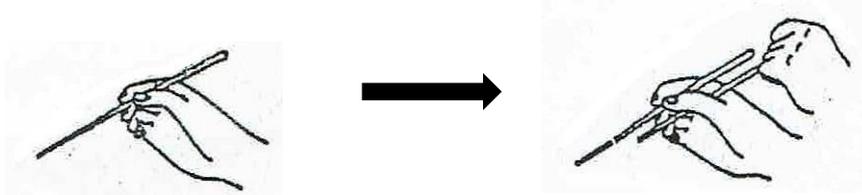
【スプーンの上手持ち】

【スプーンの下手持ち】

【箸】



○箸の持ち方の練習



上になる箸は、鉛筆を持つように軽く持ちます。

上になる箸を持ったまま、下になる箸をそっと入れます。

○おうちの方の持ち方はいかがですか？

子どもは、おうちの方の箸の持ち方や使い方を見て、覚えていきます。また、幼児期に正しく持てるようになると、それが習慣になります。1日3食、家庭と園での経験の積み重ねで、少しずつ正しい持ち方、使い方が身に付いていくようにしていきましょう！



ほし組

おたんじょうびおめでとう

にじ組

